

受け継ぐ伝統！

でんでこ太鼓

笠野小の

でんでこ太鼓とは？

校区にお住まいの太鼓の達人が、児童の人数や力量に合わせて、演奏内容を工夫し指導してくださり、今年で五つものバースデイが過ぎました。

- 一 でんでこ誕生
- 二 火と水と音
- 三 でんでこでん
- 四 村祭り
- 五 でんでこ賛歌



太鼓の達人に聞きました

津幡町の無形文化財「でんでこ太鼓」は、室町時代の笠池ヶ原に始まり、かさの祭りを経て、笠野小学校へと受けつがれています。

どう受けつがれてほしいか

リズムは変えず
たたき方の種類
を増やしていっ
てほしいなあ。



難しいところ

- ① 笛に合わせて演奏するところが難しいよ。
- ② 全員の動きを一つにそろえるところも難しいよ。

長く受けつがれた理由

リズムが親しみやすく、いろいろなたたきかたができるからだよ。

豆知識

「でんでこ太鼓の始まり」

室町時代、蓮如上人（れんによしよつにん）

というえらいお坊さんが浄土真宗の教えを広めるために、笠池ヶ原に旅して来られました。村人が関心を示さないことに困り果てた上人は、

「デネコイ、デネコイ」

と、太鼓を打ち鳴らしました。その音にひかれ、教えを受けた村人はたいこをたたいて別れを惜しみました。これがでんでこ太鼓の始まりとされています。



（担当）わ・ひ